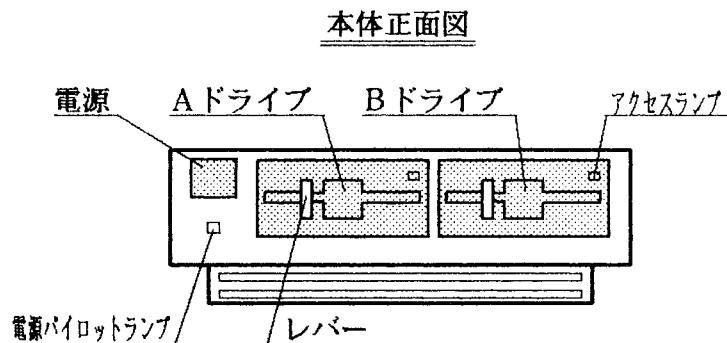


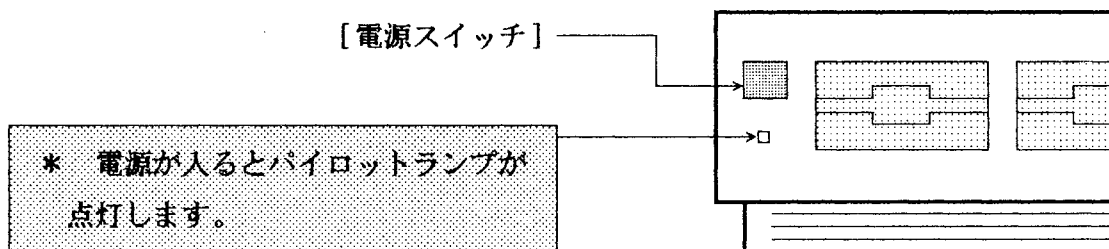
4. ワードプロセッサの基本操作

1. 作業の開始

* 操作に必要な本体各部の名称

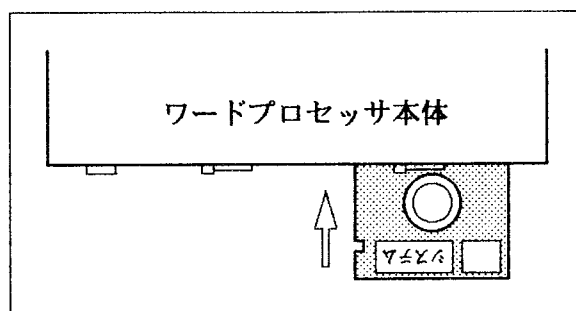


1. 本体の電源スイッチを押し、電源を ON にします。

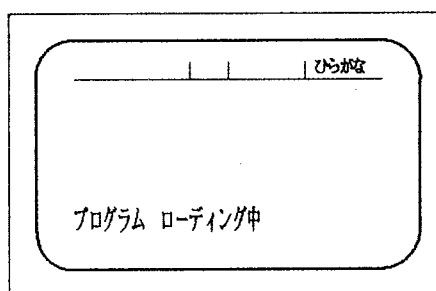


2. Bドライブに **システム・フロッピーディスク** を入れ、レバーを閉じます。

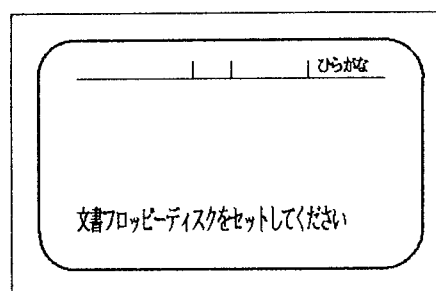
* ラベルが手前の上面になるように入れます



* ディスプレイに「プログラム ローディング中」と表示され、ワープロシステムのプログラムが、本体内へ読み込まれます。



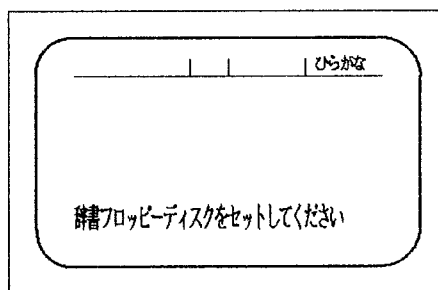
* プログラム ローディングが終了すると、ディスプレイには、「文書フロッピーディスクをセットしてください」と表示されます。



3. Bドライブから **システム・フロッピーディスク** を取り出します。

4. 同じBドライブに **文書フロッピーディスク** を入れ、レバーを閉じます。

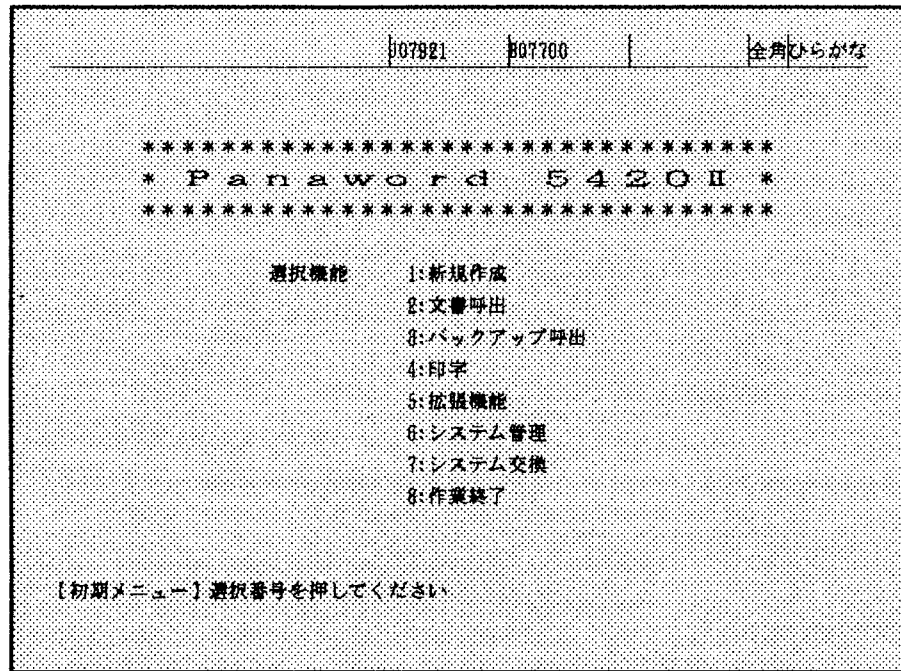
* 文書フロッピーディスクがセットされると、ディスプレイには「辞書フロッピーディスクをセットしてください」と表示されます。



5. Aドライブに **辞書フロッピーディスク** を入れ、レバーを閉じます。

* 以上の操作が正しく行われると、ディスプレイには次頁のような 初期メニュー (作業選択) 画面 が表示されます。

* 初期メニュー画面




2. 文書の入力準備

1. 「初期メニュー画面（選択機能）」を表示させます。

1：新規作成	… 新たな文書の作成
2：文書呼出	… 文書フロッピーに保存されている文書の呼出
3：バックアップ呼出	… 停電などで消去された入力途中の文書の呼出
4：印字	… 文書フロッピーに保存されている文書の印刷
5：拡張機能	… フロッピーディスクの初期化やディスクコピー等
6：システム管理	… かな入力やローマ字入力等の環境設定
7：システム交換	… MS-DOSなど他のシステムへの移行
8：作業終了	… すべての作業終了操作

* 基礎的な操作に慣れていただくまでのしばらくの間は、「1：新規作成」のみを選択します。

2. テンキーから  と打ち込み、[1：新規作成]を選択します。

* 入力書式設定画面が表示されます。

007901	007700	全角ひらがな	
[入力書式]			
用紙サイズ	1:A4縦 2:B5縦 3:B4縦 4:葉書縦 5:フリーサイズ 6:A4横 7:B5横 8:B4横 9:葉書横		
設定方法	1: 全部標準 2: 個別設定		
印字方向	横	縦とし	無
二段組	無	段間桁数	000
文字間隔	1/8 文字	左余白桁数	006
印字桁数	040	上余白桁数	000
行ピッチ	8/30 インチ	印字行数	035
下余白桁数	003		

* カーソルは“用紙サイズ”の指示位置にあります。

* もしも、“設定方法”の指示位置にカーソルがあるときは、上向きのカーソル移動キーでカーソルを“用紙サイズ”の指示位置へ移動します。



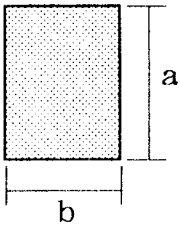
3. 用紙サイズは、[1 : A4縦]を選択します。

* “用紙サイズ”は、[1]と設定されていますので、あらためて[1]と入力する必要はありません。

* もしも、[1]以外の用紙サイズが選択されているときは、テンキーからと打ち込み、[1 : A4縦]を選択します。




☆☆ 参 考 : 用紙の種類と寸法 ☆☆




用紙サイズ	a : mm	b : mm
A4判	297	210
B5判	257	182
B4判	364	257
葉書	147	99

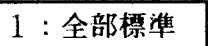
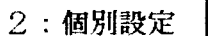
4. 設定方法は、[1：全部標準]を選択します。

* “設定方法”は、[1]と設定されていますので、あらためて[1]と入力する必要はありません。

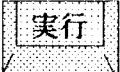
* もしも、[2：個別設定]となっているときは、下向き  のカーソル移動キーを押し、“設定方法”の指示位置へカーソルを移動します。

そして、テンキーから  と打ち込み、[1：全部標準]を選択します。

〔設定方法の選択メニュー〕

 1：全部標準	… 1行の文字詰、1頁の行詰、文字間隔など標準値で入力する
 2：個別設定	… 入力書式の各項目の値を任意指定して入力する

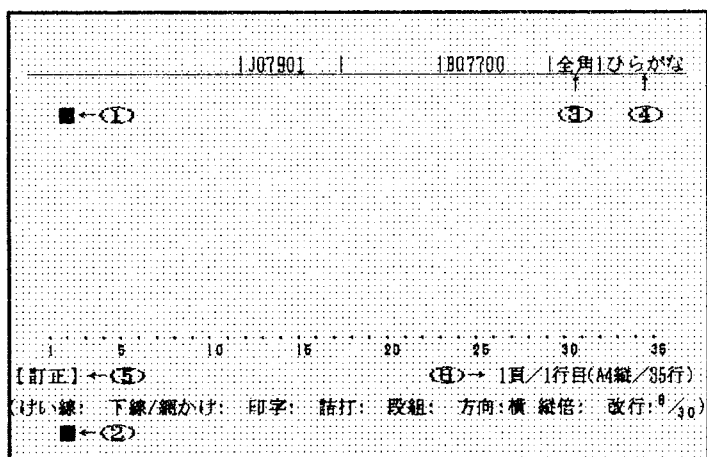
* 基礎的な操作に慣れていただくまでのしばらくの間は、「A4縦・全部標準」の入力書式のみで入力します。

8.  キー を押してください。

* ディスプレイには、下図のような文書入力校正画面が表示されます。

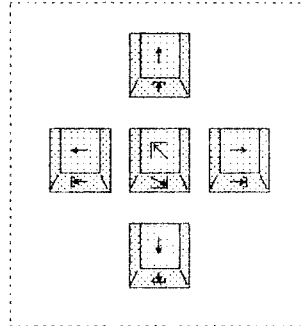
* 文書入力校正画面

- ① (文書表示エリア)カーソル
- ② (入力表示エリア)カーソル
- ③ 入力文字サイズ
- ④ 入力文字モード
- ⑤ 入力モード
- ⑥ (文書表示エリア)カーソル位置



3. カーソルの移動方法

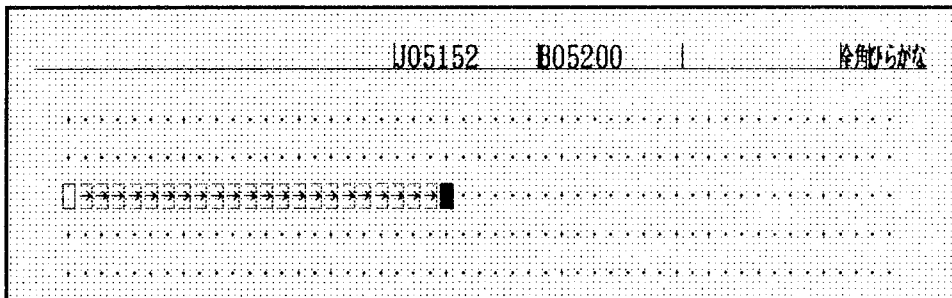
(1) カーソル移動キーによるカーソルの移動



①



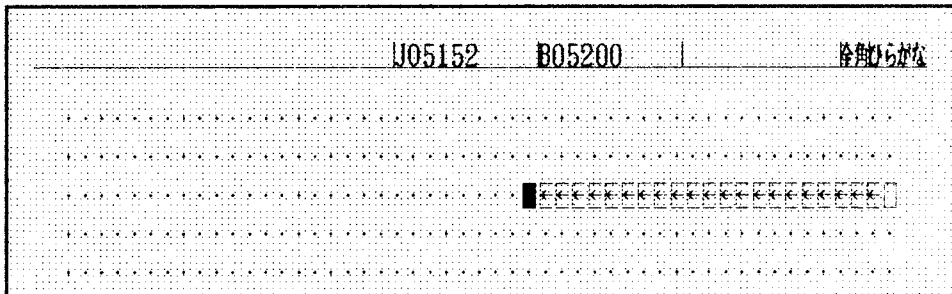
: 右方向へ1文字分ずつ移動



②



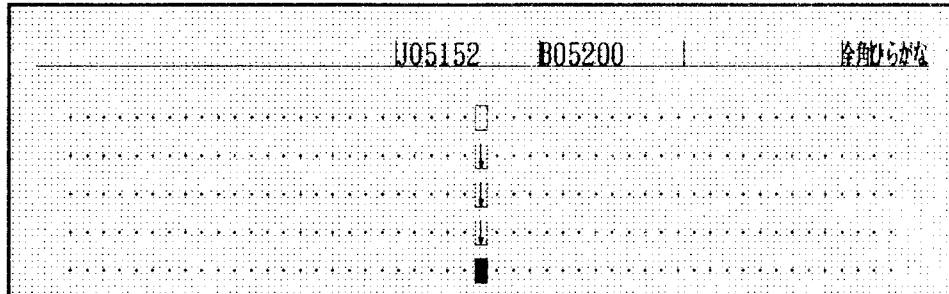
: 左方向へ1文字分ずつ移動



③



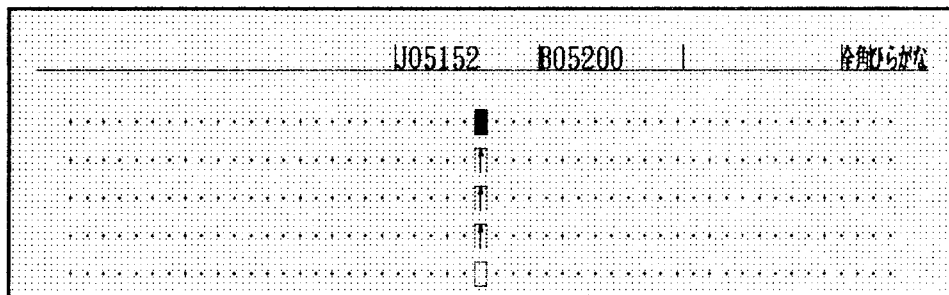
: 下方方向へ1行ずつ移動



④



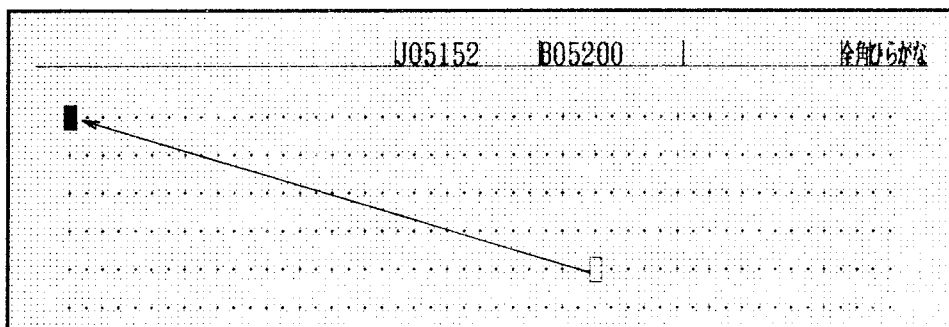
: 上方方向へ1行ずつ移動

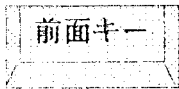



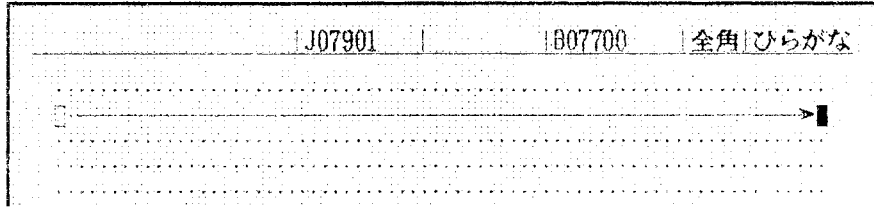
⑤





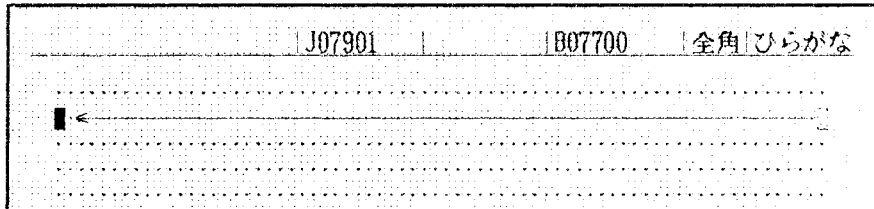
: 「文頭」(1ページ目/1行目の左端)にジャンプ移動
〔キーを2回押します〕

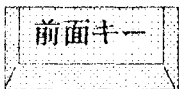



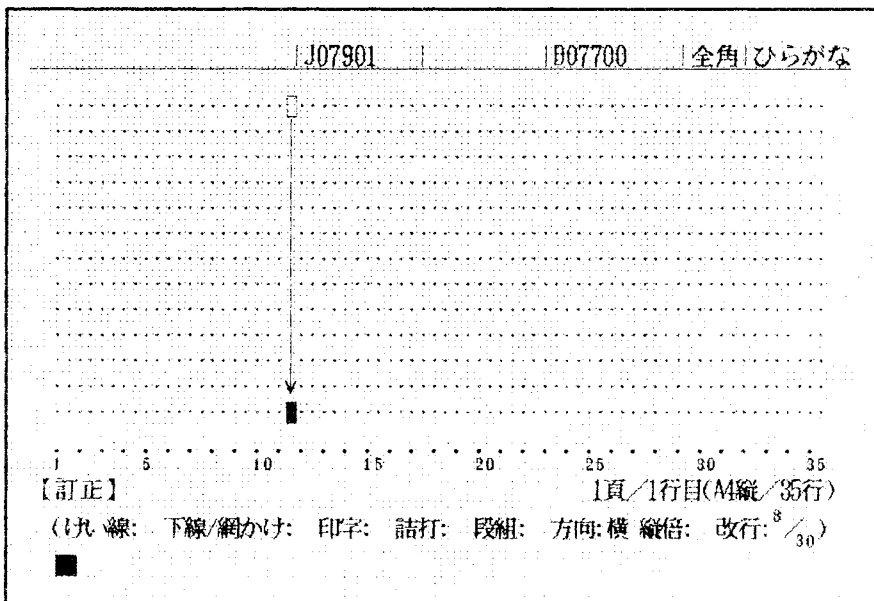
- ⑥  +  : カーソルのある行の右端(行末)にジャンプ移動

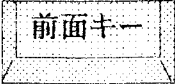



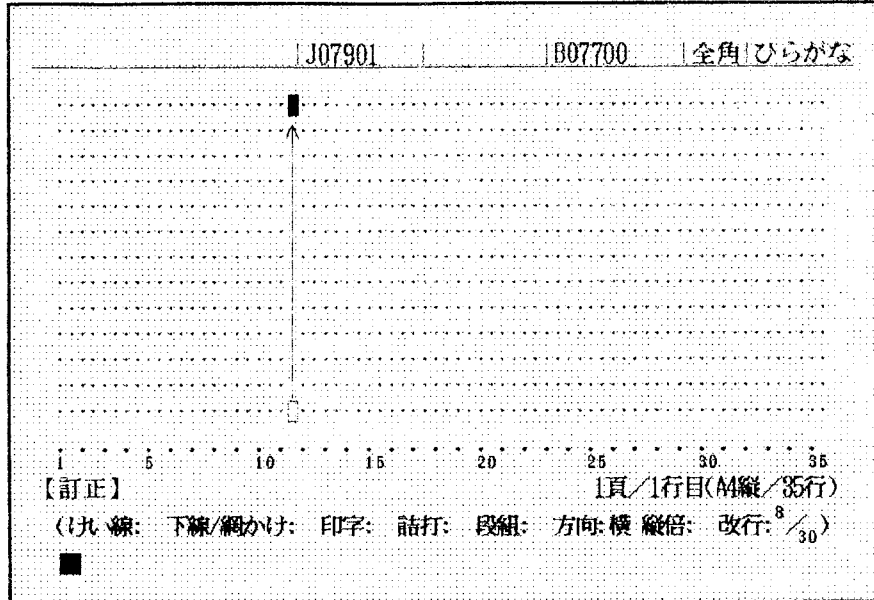
- ⑦  +  : カーソルのある行の左端(行頭)にジャンプ移動

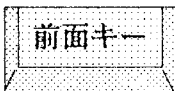



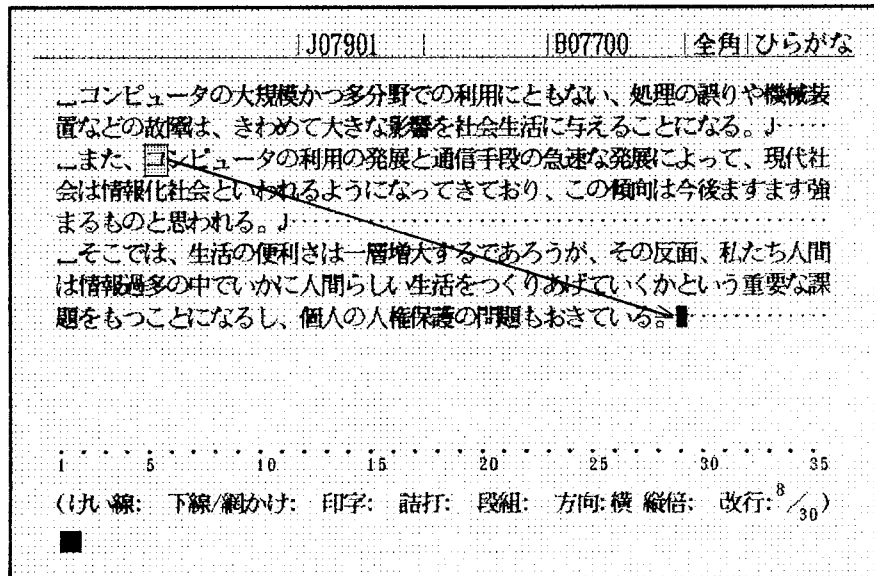
- ⑧  +  : 表示されている画面の最下行にジャンプ移動



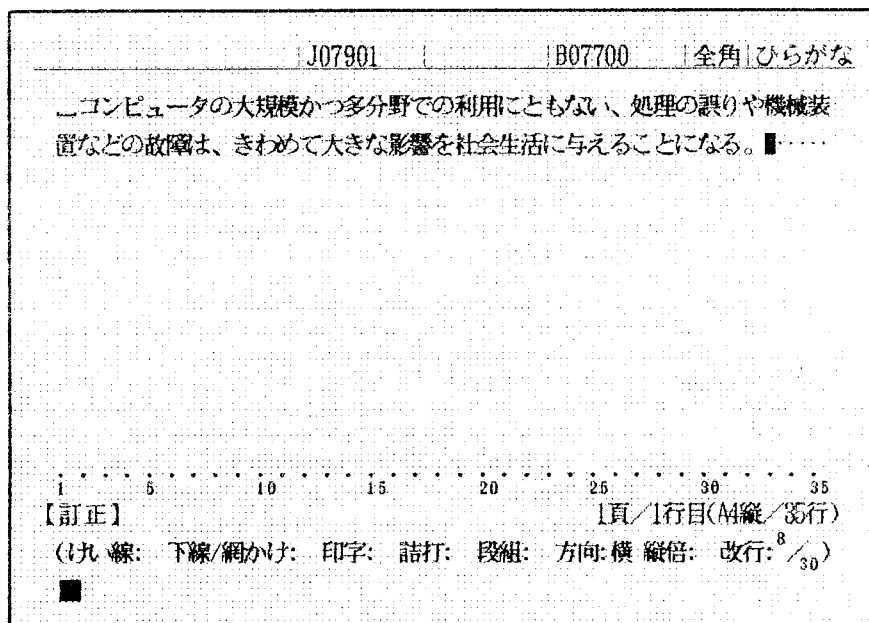
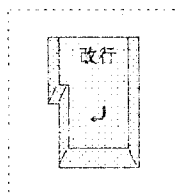
- ⑨  +  : 表示されている画面の最上行にジャンプ移動



- ⑩  +  : 「文末」(最終ページ/最終行の行末)にジャンプ移動

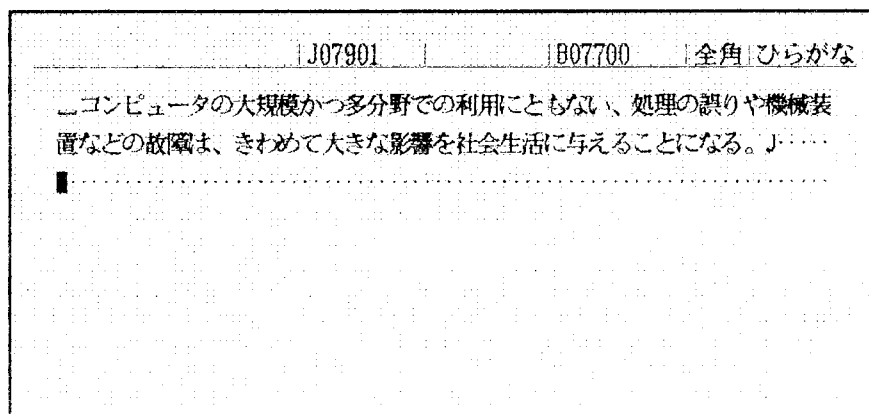


② 改行キーによるカーソルの移動

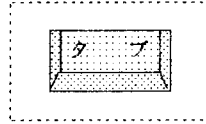


- カーソルが行末に至る前（行の途中）で、改行キーを押します。

* 改行キーを押す時点でカーソルが存在した位置に“J”（改行マーク）が示され、カーソルは、次の行の行頭（左端）へとジャンプ移動します。



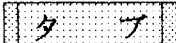
③ タブキーによるカーソルの移動



* カーソルがスキップする位置を「タブ」といいます。
このワープロ装置は、初期状態で3文字ごとに「タブ」が設定されています。

① カーソルを適当な位置に置いてください。

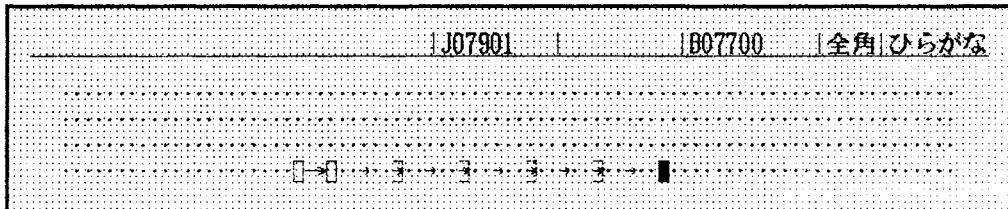
The screenshot shows a document with a header line containing 'J07901', 'D07700', and '全角ひらがな'. Below the header, a cursor is positioned on a line. Below the document area, the text '(標準タブ位置)' is centered. Underneath, a horizontal line with vertical arrows pointing down indicates standard tab positions at intervals of 5 characters, labeled 1, 5, 10, 15, 20, 25, 30, 35, and 40. At the bottom, there are settings: 【訂正】 1頁/1行目(A4縦/35行) and (けい線: 下線/網かけ: 印字: 詰打: 段組: 方向: 横 縦倍: 改行: 8/30).

②  を1回押してください。

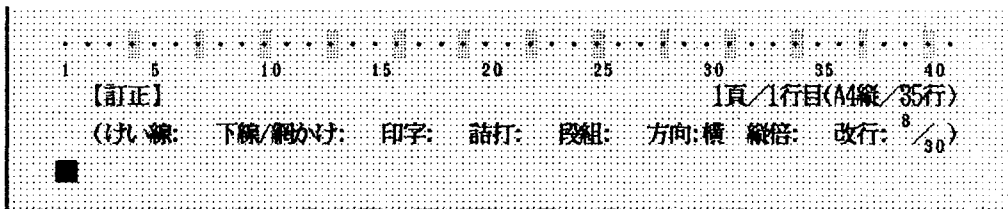
* キーを押す時点のカーソル位置から最も近い「右側のタブ位置」にカーソルがスキップします。

③ 連続して  キーを押してください。

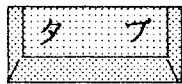
* タブキーを押すごとに、カーソルが次の「右側のタブ位置」へスキップします。



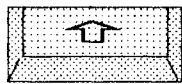
⋮



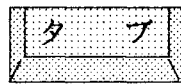
☆☆ 参 考 : バックタブ (カーソルをバックしてスキップさせる方法) ☆☆



キーを押すごとに、左から右方向へスキップしますが、

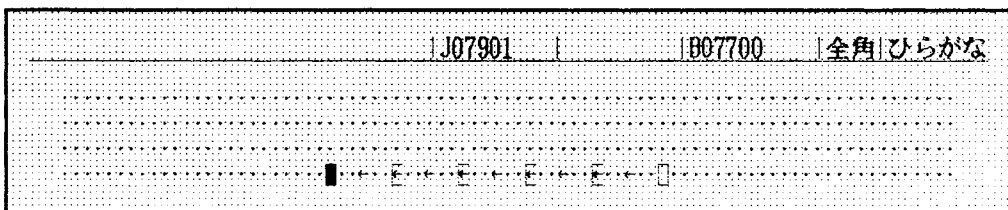


(シフトキー)を押しながら

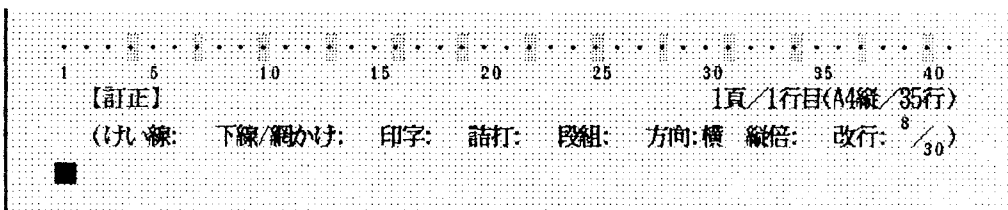


を押すと、右から左方向

へスキップします。



⋮



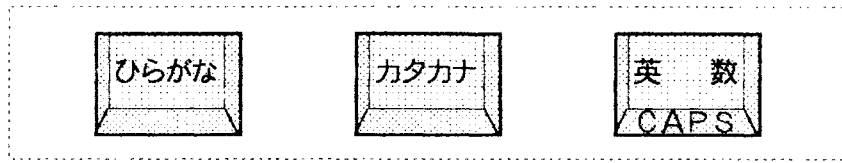
* 「タブ位置」は自由に変更することもできますが、基礎的な操作に慣れていただくまでのしばらくの間は、初期設定されている「標準タブ位置」のみを使います。

☆☆ タブの利用例 ☆☆

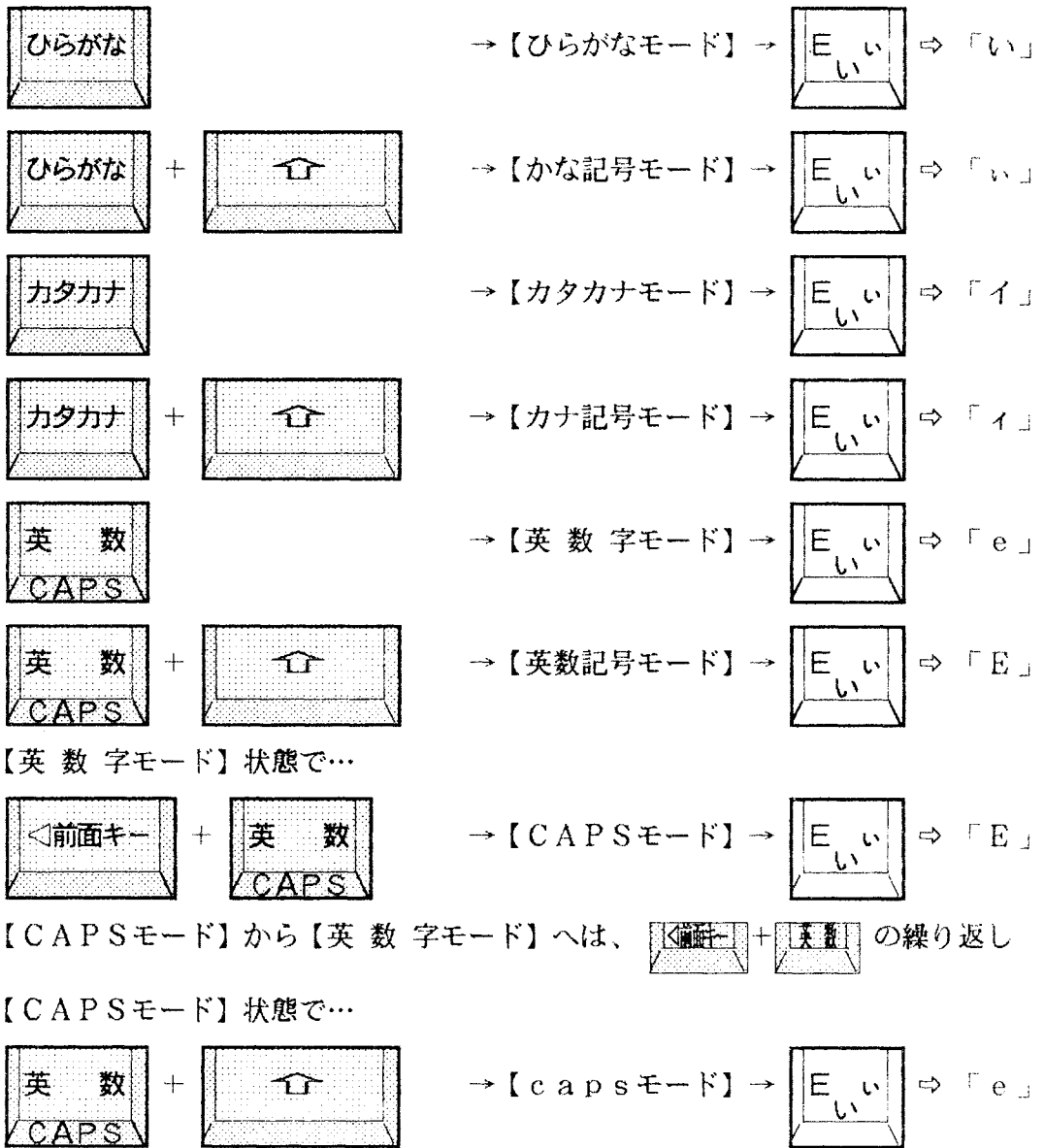
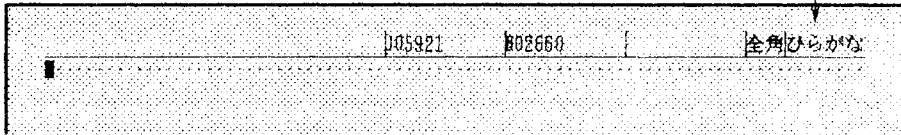
1. 研修名 市場動向データ分析
2. 研修日程 12月7日～8日
3. 研修内容
① 自社マーケットの環境
② 販売データの統計

文字列を入力するときに、“タブキー”の押す回数を決めておけば、一定の位置で書き出しを揃えることができるので、“スペースキー”や“カーソル移動キー”による調整をしなくても済みます。

4 入力時の文字モード

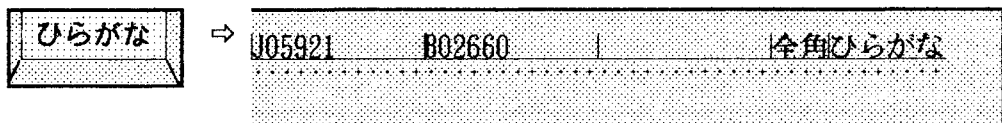
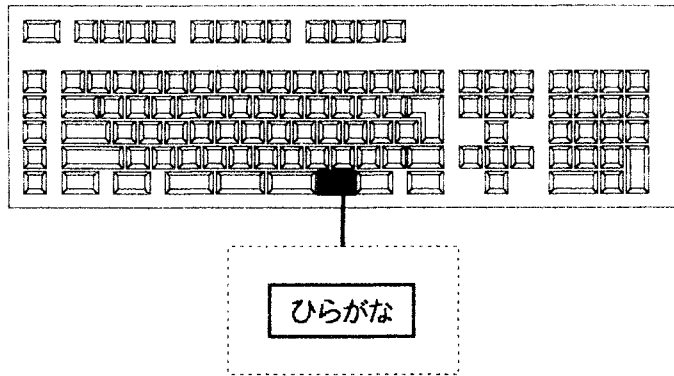


文字モード表示ウィンドウ

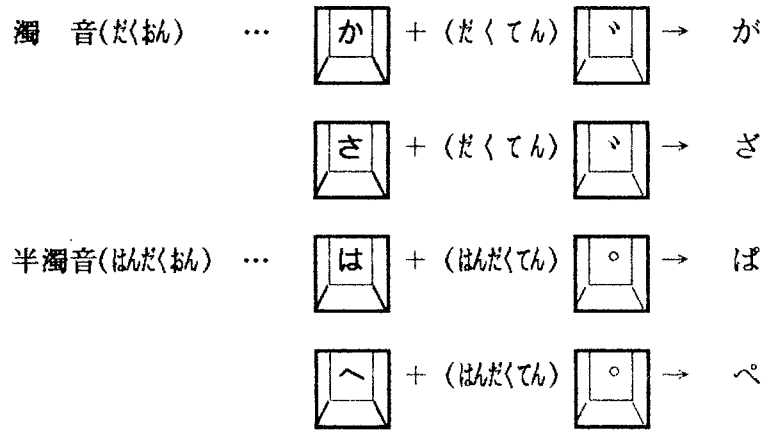


① ひらがなモード

* キー位置

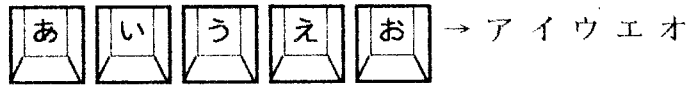
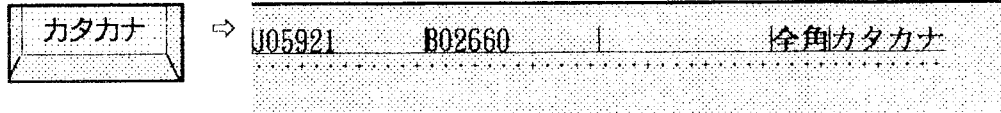
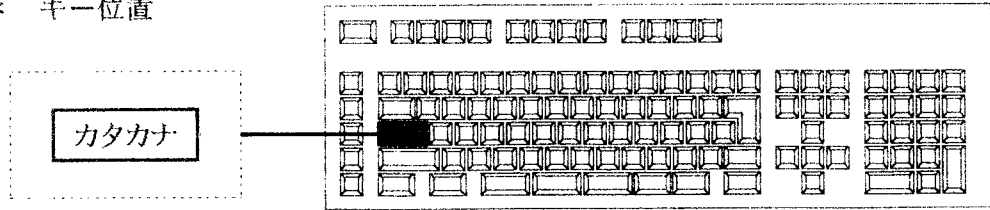


* 「濁音」や「半濁音」は、かなキーと、濁点キー・半濁点キーとを組合せます。



(2) カタカナモード

* キー位置



* 「濁音」や「半濁音」は、かなキーと、濁点キー・半濁点キーとを組合せます。

濁音(だくおん) ... + (だくてん) → ガ

+ (だくてん) → ザ

半濁音(はんだくおん) ... + (はんだくてん) → パ

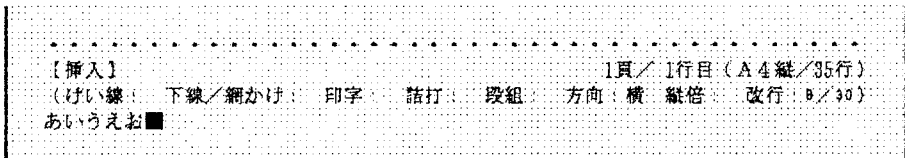
+ (はんだくてん) → ペ

* 音引きは、「長音記号」を用い、「マイナス記号」とは区別しましょう。

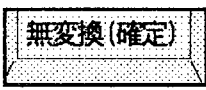
長音記号(ちゆうおんきごう) ... → — (「音引き記号」ともいう)

マイナス記号(テンキー) ... → — (電話番号などのハイフンにも使います)

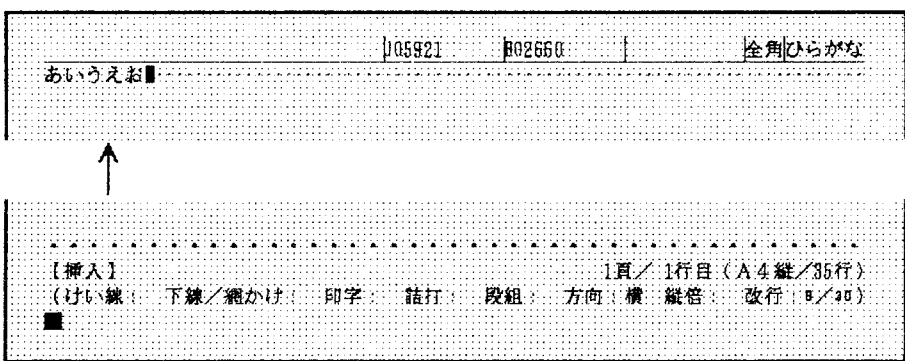
* 文字キーを打つと、入力された文字はディスプレイ最下段の「入力表示エリア」に書き出されます。



* 入力した文字を確定する方法



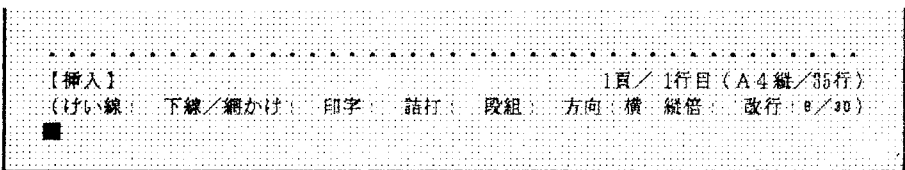
キーを押します。 ⇒ 文書表示エリアカーソル位置に、入力した文字が転送されます。




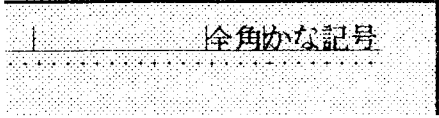
* 入力した文字を取り消し、消去する方法



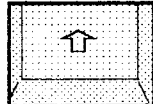

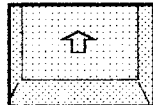
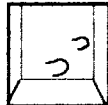

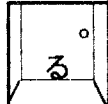



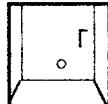




キーを押します。 ⇒ 入力表示エリア内にある、入力した文字が一括して消去されます。


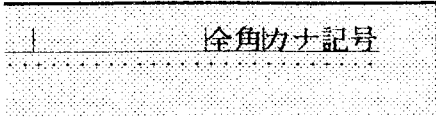


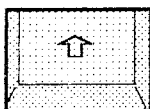

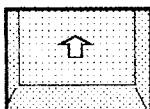

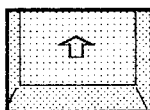

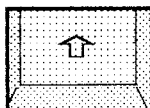
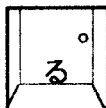
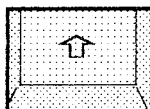


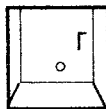
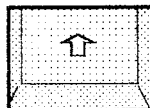
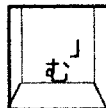
③ かな記号モード

〔ひらがな〕モード で  ⇒ 

- 助詞の「を」 ...  +  → を (～を、)
- 拗音(ようびん) ...  +  → や (ちゃ、しゅ)
- 促音(そくびん) ...  +  → っ (にっき、とっさ)
- 句点(くてん) ...  +  → 。 (申しあげます_ん)
- 読点(どくてん) ...  +  → 、 (そして_ん)
- 始めカギ括弧 ...  +  → 「 (「こんにちは」)
- 終りカギ括弧 ...  +  → 」 (「こんにちは_ん)

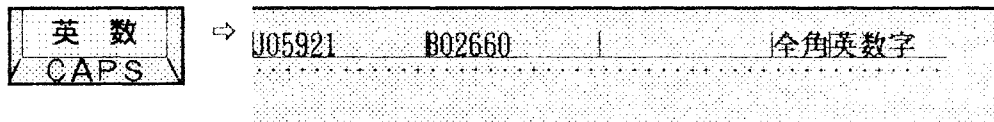
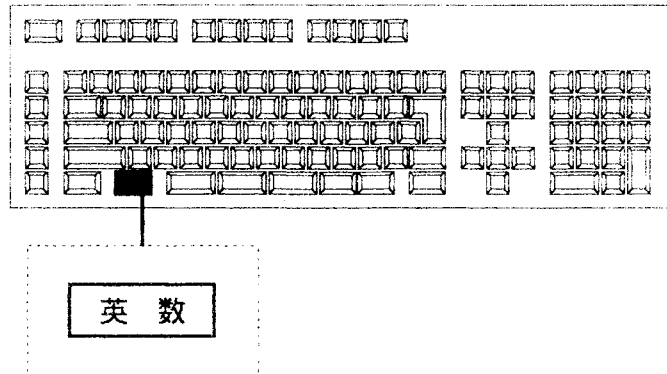
(4) カナ記号モード

〔カタカナ〕モード で  ⇒ 

- | | | | | | | |
|---------|-----|---|---|--|---|-------------|
| 助詞の「を」 | ... |  | + |  | → | ヲ |
| 拗音(ようん) | ... |  | + |  | → | ゃ (ちゃ、しゅ) |
| 促音(そん) | ... |  | + |  | → | っ (キック、タッチ) |
| 句点(くてん) | ... |  | + |  | → | 。 |
| 読点(どてん) | ... |  | + |  | → | 、 |
| 始めカギ括弧 | ... |  | + |  | → | 「 (「こんにちは」) |
| 終りカギ括弧 | ... |  | + |  | → | 」 (「こんにちは」) |

(5) 英数字モード

* キー位置



(6) CAPSモード

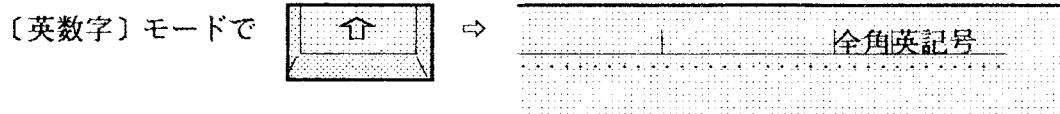
〔英数字〕モードで



* 〔CAPS〕モードから、〔英数字〕モードに戻すときは、



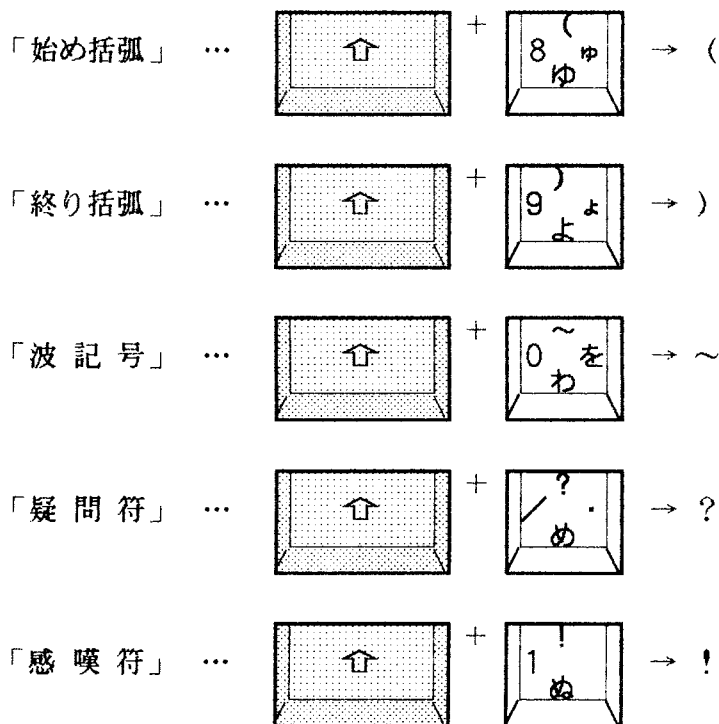
(7) 英記号モード



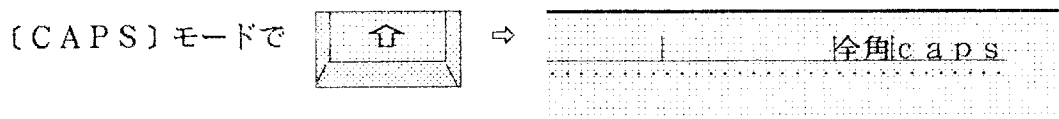
* 英数字モードでは、通常「小文字のアルファベット」が入力されますが、英記号モードにすると、「大文字のアルファベット」の入力ができます。



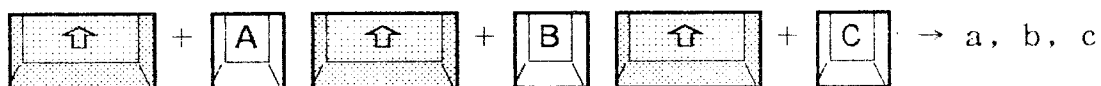
* 各文字キーの上部に表記されている記号類を入力する場合も〔英記号〕モードにします。



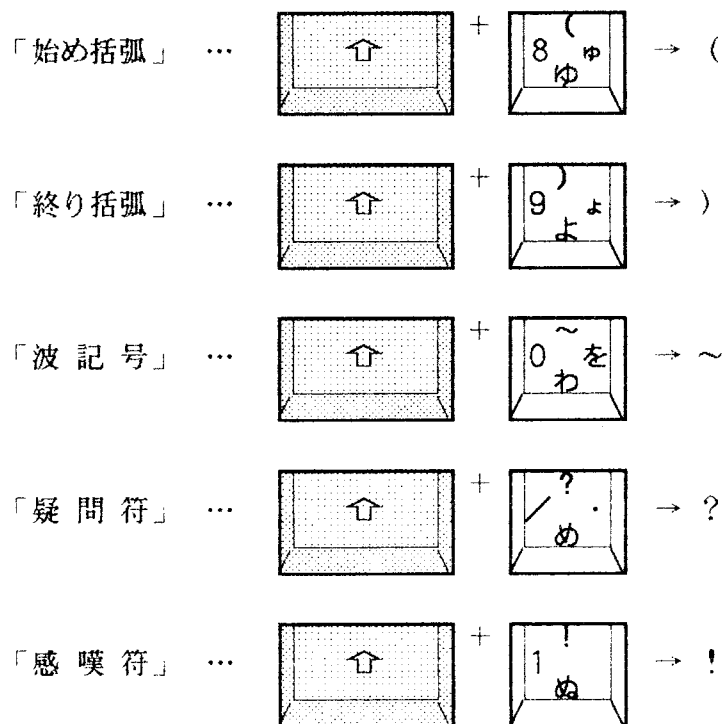
(8) caps (CAPS記号) モード



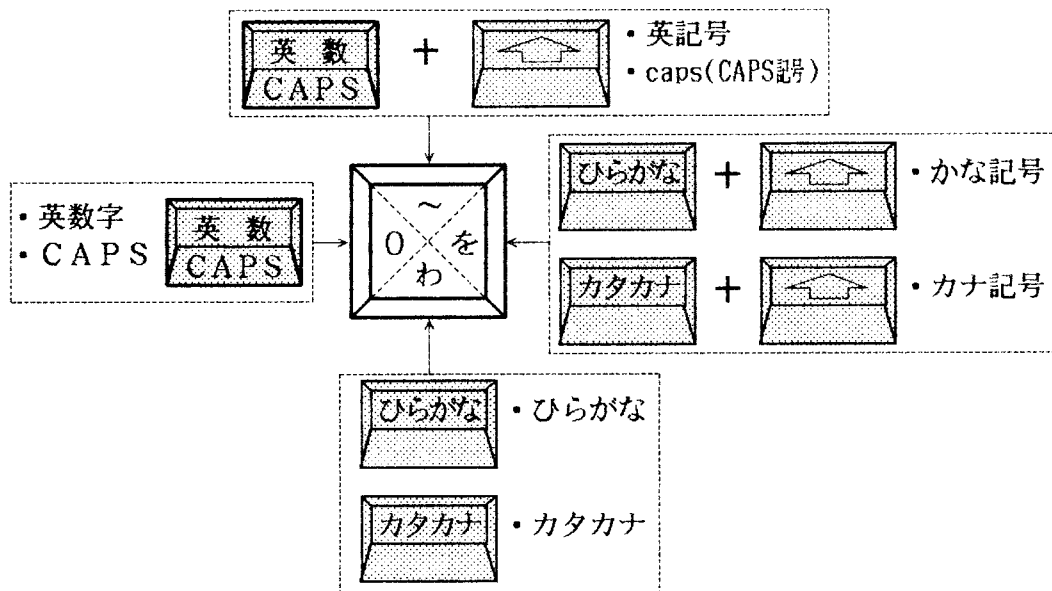
* CAPSモードでは、通常「大文字のアルファベット」が入力されますが、capsモードにすると、「小文字のアルファベット」の入力ができます。



* 各文字キーの上部に表記されている記号類を入力する場合も〔caps〕モードにすると、〔英記号〕モードとまったく同様に入力することができます。



文字キーと文字モード切替キー（ファンクションキー、シフトキー）
 《まとめ》

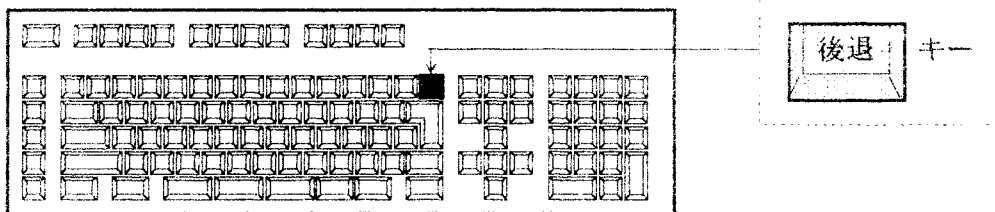


文字モード表示	文字キーから入力される文字・記号
ひらがな	あいうえお かきくけこ ぱびぶべぽ ぽびぶべぽ ー
カタカナ	アイウエオ カキクケコ バビブベボ パビブベボ ー
かな記号	あいうえお つ やゆよ を 々 、 。 ・ 「 」 「 」
カナ記号	アイウエオ ッ ヤユヨ ヲ 々 、 。 ・ 「 」 「 」
英数字	12345 abcde ¥ , . / \ ; :
CAPS	12345 ABCDE ¥ , . / \ ; :
英記号	ABCDE ! " # \$ % & ' () ~ } { * ? < >
caps(CAPS記号)	abcde ! " # \$ % & ' () ~ } { * ? < >

* テンキーからは、入力文字モードに関係なく、表示されている「数字」や「演算記号」の入力ができます。

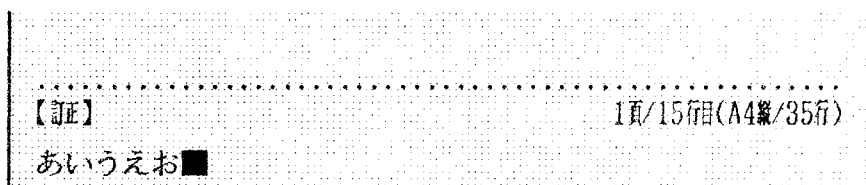
5. 入力文字の削除

(1) 入力表示エリア内の文字の消去

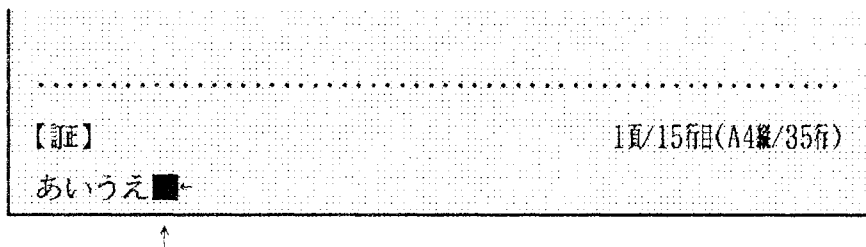


* 入力された文字を、うしろの方から1文字ずつ消去します。

1. と入力してください。(無変換キーは押さない!)



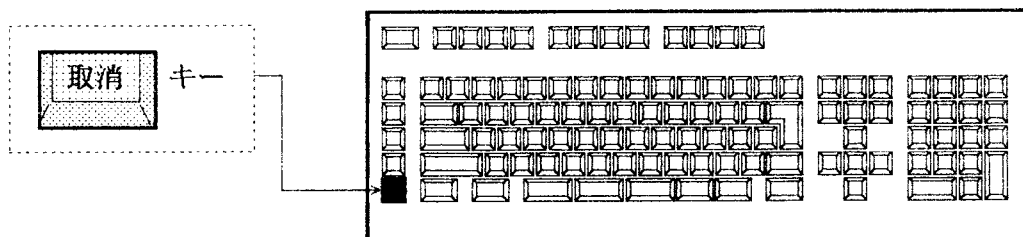
2. キーを押します。



* 後退キーを1回押す毎に、うしろの文字から1文字ずつ消去されていきます。

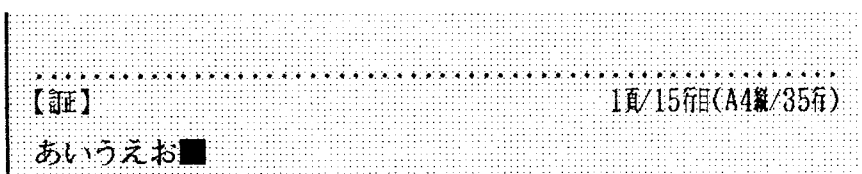
* 後退キーを押し続けると、連続して文字が消去され、すべて消去されるとアラームが鳴ります。

② 入力文字の一括消去（取消し）

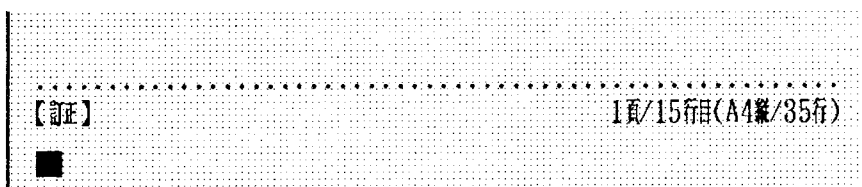


* 入力された文字を、一括して消去（入力取り消し）します。

1. と入力してください。（無変換キーは押さない！）



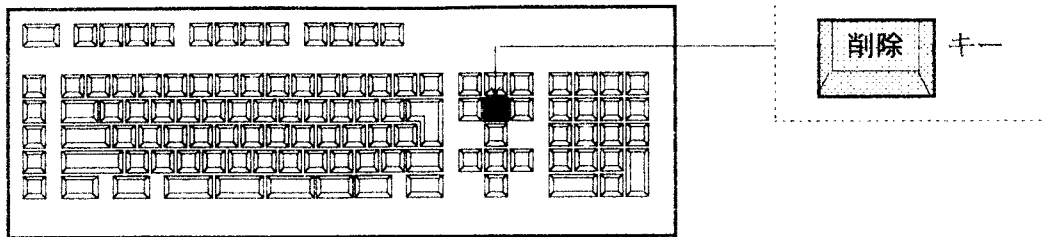
2. キー を押します。



* 取消キーを押すと、一括して入力表示エリアの文字が消去されます。

* 入力表示エリア内に何も無い状態で 取消キー を押すと、アラームが鳴ります。

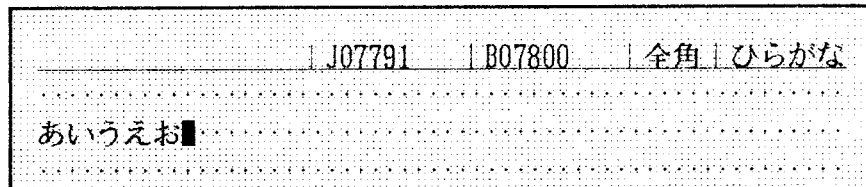
6. 確定文字の削除



(1) 1文字削除

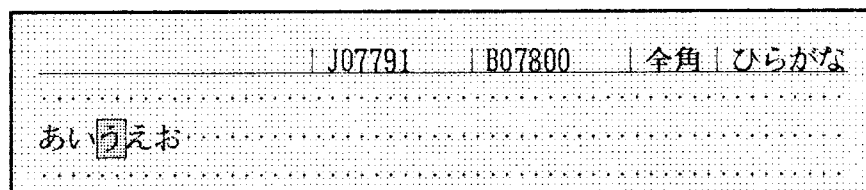
1. と入力してください。

2. キーを押して、文書表示エリアへ転送します。

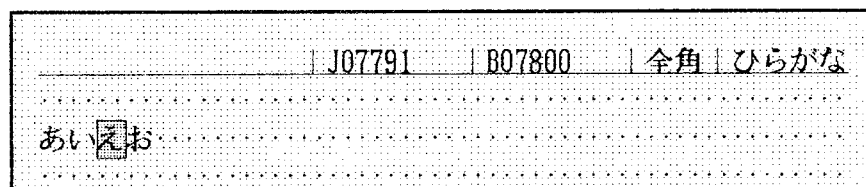


* 「う」の文字、1文字を削除します。

3. 文書表示エリアの「う」の文字にカーソルを重ねます。



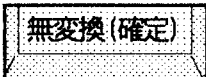
4. キー を2回押します。

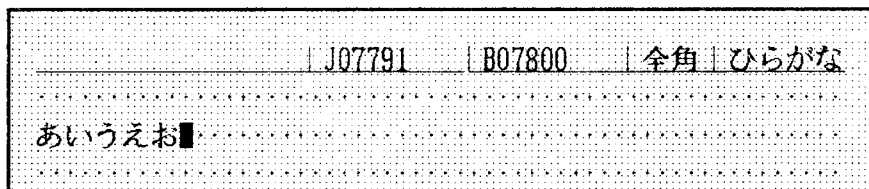


* 「う」の1文字が削除され、カーソル以降の文字列が文字詰めされます。

② 文字列（連続した複数の文字）の一括削除

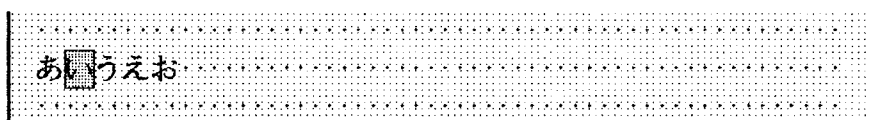
1.      と入力してください。


2.  キーを押して、文書表示エリアへ転送します。

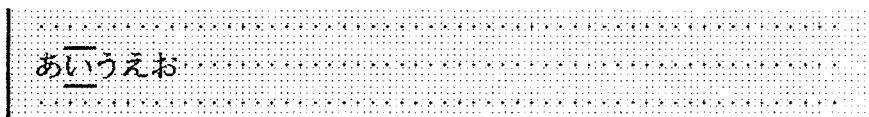


* 「い・う・え」の文字列、3文字を一括して削除します。

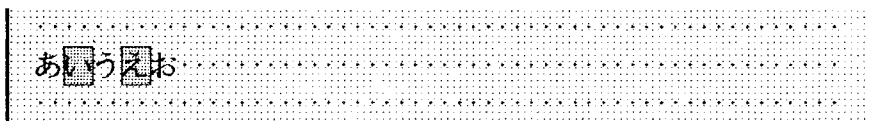
3. 削除対象文字列の先頭文字“い”の文字にカーソルを重ねます。


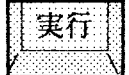


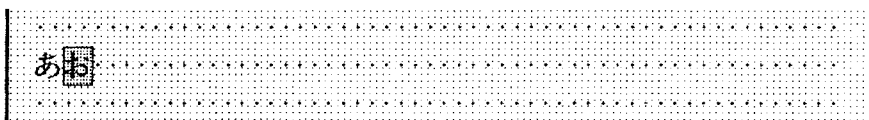
4.  キーを 1 回 押します。



5. 削除対象文字列の末尾文字“え”の文字にカーソルを重ねます。

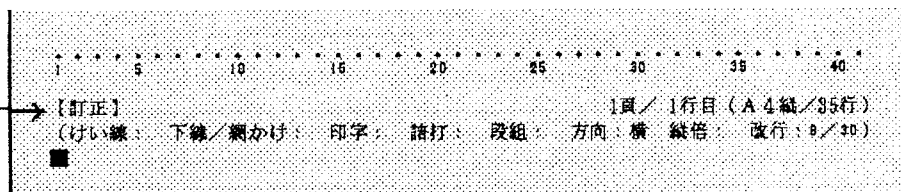
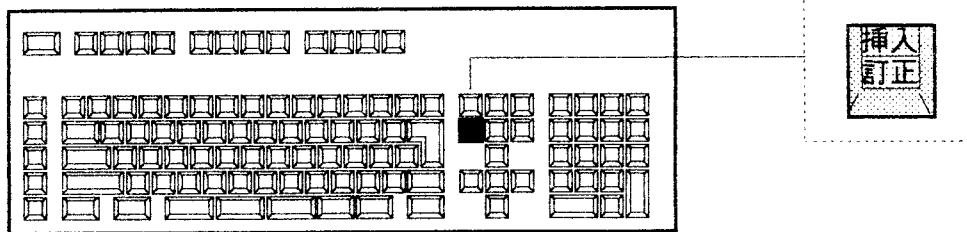


6.  キーを再度押します。 (2 回目は、 キーでもよい。)



* 「い・う・え」の3文字が一括削除され、カーソル以降が文字詰めされます。

7. 入力モード

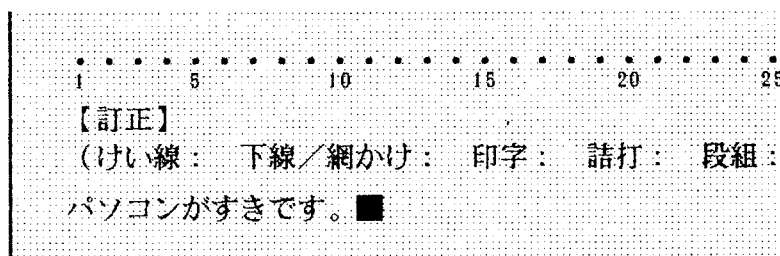


入力モード表示ウィンドウ

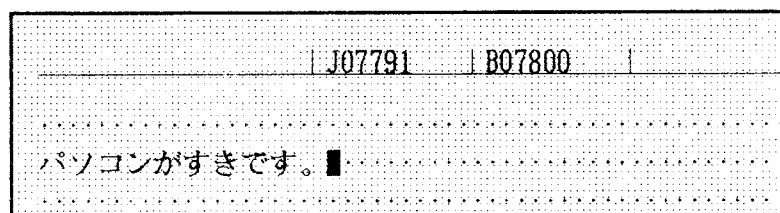
(1) 訂正（上書き）モード

* 確定した文字の上に、別の文字（文字列）を重ね書きして修正します。


1. “パソコンがすきです。” と入力してください。



2. **無変換(確定)** キーを押して、文書表示エリアへ転送します。




* “パソコン”の文字列に、“ワープロ”の文字列を重ね書きします。

3.  キーを押して、【訂正】モードにします。

【訂正】
(けい線： 下線/網かけ
■


* 入力モード表示ウィンドウが、すでに【訂正】となっていれば、 キーを操作する必要はありません。


4. 訂正対象文字列の先頭文字“パ”の文字にカーソルを重ねます。

 ソコンがすぎです。

5. “ワープロ” と、入力してください。

【訂正】
(けい線： 下線/網かけ
ワープロ■

6.  キーを押して、文書表示エリアへ転送します。

ワープロ  がすぎです。

* “パソコン”の文字列が“ワープロ”の文字列に置き替わり、カーソルは置き換えた文字列の後ろへ下がります

* このように、文字列長さ(字数)が同じ場合の修正には、【訂正】モードで上書きすると便利です。


(2) 挿入モード

* 確定した文字（文字列）の途中に、文字（文字列）を割り込ませて追加します。


ワープロがすきです。■



* “ワープロがすきです。”の間に、“とても”の文字列を追加し“ワープロがとてもすきです。”とします。

1.  キーを押して、【挿入】モードにします。

【挿入】
(けい線： 下線/網かけ
■


* 入力モード表示ウィンドウが、すでに【挿入】となっていれば、 キーを操作する必要はありません。

2. 文字列を挿入する位置へカーソルを移動します。

ワープロがすきです。


3. “とても” と入力してください。

【挿入】
(けい線： 下線／網かけ)
とても■

4.  キーを押して、文書表示エリアへ転送します。

ワープロがとてもすきです。

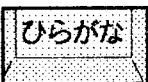
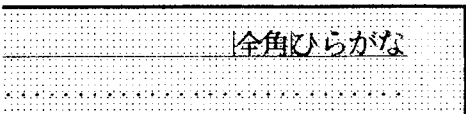
* 「ワープロが」と、「すきです。」との間に、「とても」の文字列が挿入され、カーソル以降の文字列は、カーソルと共に、追加文字列の後ろへ下がります。

* 【訂正】モード・【挿入】モードは、次に  キー を操作するまで継続されます。

** 練習問題 ****

次ページの各課題の「単語」を、下記の要領で入力してください。

れんぼう「がっこう」ぎゃくてん「ちゅうごく」 の入力方法

①  ⇒  * ひらがなモード

②       

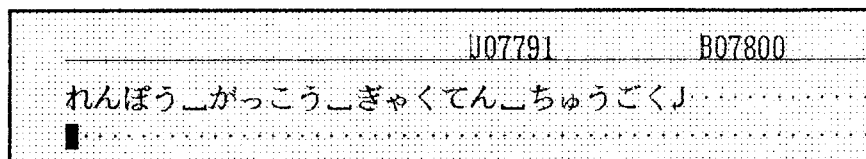
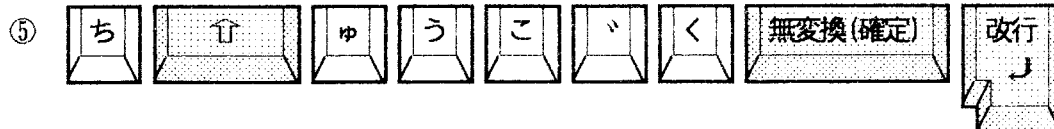
U07791 B07800
れんぼう「

③        

U07791 B07800
れんぼう「がっこう」

④         

U07791 B07800
れんぼう「がっこう」ぎゃくてん「



課題1. 次の単語を“ひらがなモード”で入力しなさい。

れんぼう ー がっこう ー ぎゃくてん ー ちゅうごく ー

ちっしょ ー すいしゃ ー いちりゅう ー じょうほう ー

課題2. 次の単語を“カタカナモード”で入力しなさい。

ディスク ー ファジー ー フィギュア ー デュエット ー

ジュース ー チェーン ー ルーレット ー ベンチャー ー

課題3. 次の単語を“英数字モード”で入力しなさい。

c a t ー b a b y ー a p p l e ー f l o w e r ー



i c e ー s h i p ー m e l o n ー m o n k e y ー


課題4. 次の単語を“CAPSモード”で入力しなさい。

Z O O ー R O O M ー H O U S E ー S C H O O L ー


O U R ー Y E A R ー T I M E S ー F R U I T S ー

8. 作業の終了

- * 入力表示エリアに文字が残っていると、終了モードに移行しません。
- * 文書表示エリアへ転送するか、 キー・ キーで消去してください。


1.  キーを押してください。

* ディスプレイに「終了メニュー」が表示されます。

.....
 1 5 10 15 20 25 30 35 40
 【終了】 選択番号を押してください  : 入力校正へ戻る
 [1. 文書印字 2. 文書登録 3. 文書削除 4. 書式変更 9. 初期メニュー 0. 作業終了]

1. 文 書 印 字 : 表示中の文書を「印刷」します。
2. 文 書 登 録 : 表示中の文書を「文書フロッピーディスク」に登録します。
3. 文 書 削 除 : 「文書フロッピーディスク」内の登録文書を消去します。
4. 書 式 変 更 : 表示中の文書の「入力書式」を変更します。
9. 初期メニュー : 表示中の文書は保存せずに「初期メニュー」へ戻ります。
0. 作 業 終 了 : 表示中の文書は保存せずに「装置の停止(終了)」をします。


* 入力した文書の保存(文書フロッピーディスクへの登録)はせずに終了します。

2. テンキーから  と打ち込み、[0. 作業終了]を選択します。

* ディスプレイには 確認 のメッセージが表示されます。

.....

1 5 10 15 20 25 30 35 40
【終了】入力校正された内容は登録されていなければ無効となります
良ければ実行キーを中止する場合は取消キーを押してください

3.  キー を押してください。

* ディスプレイに、「電源を切ってください」とガイダンスが表示されます。

電源を切ってください

4. 電源を切る前に、両方のドライブからフロッピーディスクを取り出します。

* どちらのフロッピーディスクから取り出しても結構です。
ただし、すぐにエンベロープ（封筒）にしまってください。

5. フロッピーディスクを取り出した後、本体の電源を OFF にします。

* 電源を切ったあと、消毒用アルコールまたはOAクリーナーでキーボード、ディスプレイ、本体などを拭いて清潔を保つよう心がけましょう。